

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月18日

計画の名称	1 北九州市のものづくり産業を支えるアクセス道路の整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	都市の発展や企業の物流振興を支え、国際競争力のある物流拠点都市の形成に資するアクセス道路の整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	13,154	A	13,154	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2d当初	R4d末	R6d末
1	恒見朽網線(6号線)や戸畑枝光線などの整備により、物流・人流を支える広域道路ネットワークを強化する。 アクセス道路の所要時間の短縮率 所要時間短縮率(%) = (当初の所要時間 - 評価時点の所要時間) / (当初の所要時間) × 100	0%	%	28%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	湯川飛行場線	L=0.5km	北九州市						952	-	
	A01-002	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	曾根223号線	L=1.5km	北九州市						387	-	
	A01-003	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(主)恒見朽網線(6号線)	L=3.1km	北九州市						4,294	-	
		R6にP1からP3へ移行																	
	A01-004	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	下曾根駅前線	L=0.4km	北九州市						103	-	
		R4にP1からP11へ移行																	
	A01-005	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	戸畑枝光線(戸畑ランプ~牧山ランプ)	L=1.6km	北九州市						974	-	
		R5にP1から個別補助へ移行																	
	A01-006	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	汐井町牧山海岸線	L=0.8km	北九州市						4,026	-	
	A01-007	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	砂津長浜線	L=0.9km	北九州市						2,378	-	
		R5にP1からP3へ移行																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-008	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	城山西線	L=0.7km	北九州市						40	-	
											小計						13,154		
											合計						13,154		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北九州市都市整備局道路部道路計画課が、以下の学識経験者から第三者の意見を求め、事後評価を実施。 北九州市立大学 地域戦略研究所 内田 晃 教授 九州工業大学 大学院工学研究院 寺町 賢一 教授	令和7年度
	公表の方法
	北九州市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【曾根223号線】【湯川飛行場線】【恒見朽網線（曾根新田工区）】 湯川飛行場線は、令和3年3月に開通し、曾根臨海公園へのアクセスが可能となった。現在は、令和6年5月に開通した恒見朽網線（曾根新田工区）と接続し、周防灘沿岸部の物流機能の強化、北九州空港へのアクセス利便性向上が図られた。</p> <p>【(R6よりP3に移行した)汐井町牧山海岸線】 令和6年8月に開通し、JR戸畑駅北口と南口とのアクセス強化を図り、戸畑枝光線（牧山～枝光間）と接続することで、広域道路ネットワークの確保が図られた。</p> <p>【(R5よりP3に移行した)砂津長浜線】 令和4年5月に本線部（砂津長浜トンネル）を開通し、国道3号（小倉北区砂津一丁目）と国道199号（小倉北区長浜町）の連絡が強化され、小倉都心部の回遊性向上が図られた。</p> <p>【城山西線】 国道3号と黒崎バイパス黒崎北ランプへのアクセスが向上し、通過交通が排除されることで慢性的な渋滞状況である黒崎副都心地区の交通の円滑化が図られた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【（工区を分割した）恒見朽網線（吉田・恒見工区）】 引き続き事業を実施し、恒見朽網線（曾根新田工区）等と一体的な活用により、一層の周防灘沿岸部の物流機能の強化、北九州空港へのアクセス利便性向上を目指す。</p> <p>【(R4よりP11に移行した)下曾根駅前線】 引き続き事業を実施し、アクセス・交通結節機能の強化、交通混雑の解消及び駅利用者の利便性向上を目指す。</p> <p>【（R5より個別補助に移行した）戸畑枝光線（戸畑～牧山間）】 令和5年度から個別補助化され、今後は個別補助事業として引き続き事業を実施し、広域道路ネットワーク形成を目指す。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	28%
	最終実績値	28%